

えんがる 議会だより



白滝北大雪クロスカントリースキー大会
地元白滝出身の選手が躍動！

平成29年第7回町議会(臨時会)	P 2
平成29年第8回町議会(定例会)	P 4
一般質問	P 8
委員会レポート	P 12
えんがある話	P 16

レツショウ!

16人で気持ち新たにスタート

議長に前田篤秀議員、副議長に今村則康議員を選出

平成29年第7回町議会（臨時会）

新たに議員になつた16人による初議会（臨時会）を10月26日に開催しました。

前田篤秀 議長



秋元直樹 議員



稻場仁子 議員



佐藤昇 議員
①民生
②新政クラブ
③監査委員（議会選出）



一宮龍彦 議員

黒坂貴行 議員

議長、副議長及び各議員については次のとおりです。
①所属常任委員会 ②所属会派 ③その他

初議会では、議長は前田議員、副議長には今村議員を選出し、新たなる4年間へ向けスタートを切りました。

また、各常任委員会、

今村則康 副議長



阿部君枝 議員



岩澤武征 議員



佐藤登 議員
①総務・文教
②新政クラブ
③議会運営



議会運営委員会委員等の選任並びに遠軽地区広域組合議員の選出、教育委員会委員、教育長の任命に同意したほか、表彰3件、補正予算などの案件について議決しました。

①民生
②撰の会

①経済委員長
②撰の会
③議会運営

①総務・文教
②新政クラブ
③議会運営

①経済
②撰の会
③広報

Re:フレッシュ (リフ)

- ① 経済
② 新政クラブ



前島英樹 議員

- ① 総務・文教委員長
② 撲の会
③ 議会運営、広域組合



竹中裕志 議員

- ① 総務・文教
② 新政クラブ
③ 議会運営委員長



高橋義詔 議員

- ① 民生
② 新政クラブ
③ 広報、広域組合



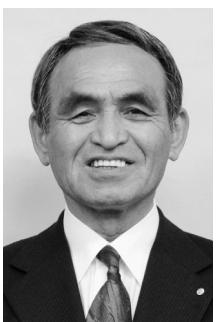
渡部正騎 議員

- ① 民生副委員長
② 撲の会
③ 広域組合



山谷敬一 議員

- ① 経済
② 町民ネット
③ 広報副委員長、広域組合



山本悟 議員

- ① 中川満之氏
② 新野尾伸一氏
③ 戸井佳穂氏
④ 長谷川光夫氏

- 選挙管理委員及び補充員の選挙

補 正 予 算

- ◆ 平成29年度遠軽町一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算の総額に2375万円を追加し、

一式

- ・ 山谷和善様
(社会福祉振興資金)
・ 藤原雅彦様
(げんき21用テレビ等)

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することについて、原案のとおり可決しました。
○社会功労 (公共のため30万円以上の金品を寄附した個人)
・ 田中良吉様
(中央公園あづまや建設資金)

特 別 委 員 会 の 設 置

彰 彰

- ◆ 公平委員会委員の選任
会員の選任

・ 高木祥隆氏
・ 水戸重敏氏
・ 笹原博氏
・ 秋田健一氏
・ 前本雅司氏
・ 橋本健一氏
・ 生田原コミニティセンター旧館ボイラーエンジニア新工事

主 な 内 容

・ 織田政幸氏
・ 高木祥隆氏
・ 水戸重敏氏
・ 笹原博氏
・ 秋田健一氏
・ 前本雅司氏
・ 橋本健一氏
・ 生田原コミニティセンター旧館ボイラーエンジニア新工事

○ノースキング管理事業 1481万円

老朽化したボイラーの更新費用です。

円としました。

議場を包む緊張感

平成29年第8回遠軽町議会（定例会）は、12月12日に招集され、12月14日までの3日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から3期目に当たり、次の取組みについて基本的考え方の所信表明がありました。

1つ目、「元気あふれるまちづくり」は、基幹産業である農林業の振興を図る。

2つ目、「愛情あふれるまちづくり」は、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す。

3つ目、「未来につなぐまちづくり」は、子どもたちのために教育と文化、スポーツを支援する。

4つ目、「みんなで創るまちづくり」は、市民と行政の一体となつた協働のまちづくりを推進する。

5つ目、「自衛隊駐屯地とともに発展するまちづくり」は、遠軽町のみならず近隣市町村にとつても欠かせない重要課題の一つと捉えている。

との考え方を、それぞれ示しました。

行政報告は、オリンピック展示林、JR問題、ごみ焼却施設の稼働状況、各期成会の活動報告等についてありました。

審議は、副町長の選任、条例改正は給与条例等の一部改定（一般議員、特別職）のほか3件、平成28年度一般会計・特別会計補正予算、表彰1件、工事請負契約の締結1件、工事請負契約の変更1件、意見書2件が提案され審議の結果、すべてを原案のとおり可決しました。（関連7ページ）

今冬も開催します！ ファーストカップスキーフェスティバル

FIS
公認



世界レベルのレースを
わがまち自慢のバーンで

主な内容

主な補正予算

◆平成29年度遠軽町一般

会計補正予算（第6号）
歳入歳出予算の総額、
歳入歳出それぞれ533
万円を減額し、歳入歳出
予算の総額を歳入歳出そ
れぞれ161億52万円
としました。

○保健体育一般経費

社会体育振興補助金
220万円

○教育振興一般経費

スポーツ合宿誘致委員
会補助金及びファースト
カップ組織委員会補
助金です。

○教育振興一般経費

学校行事負担金
461万円

中体連・小中学校吹奏
樂の上部大会参加費に係
る学校行事負担金です。

○議員報酬及び期末手当
等
△429万円

・議員報酬など

改選後初の定例会

平成29年第8回遠軽町議会(定例会)

○バス路線事業
140万円
・地域公共交通確保維持
改善事業補助金
清里線及び町内循環線
の補助金額の確定に伴う
追加です。

○職員人件費
1394万円
・一般職給など
給与改定並びに支給割合の改定及び人事異動に伴う執行精査によるもので
す(関連下段条例改正)。

○特別職人件費
△1106万円
・特別職給など
いずれも給与改定並びに支給割合の改定及び執行精査によるもので
す(関連下段条例改正)。



※南中(東日本)、遠高(マーチング)も出場し優秀な成績を収めました。



【略歴】
・昭和56年3月
奥尻高等学校卒
・北海道採用(胆振支庁)
・平成3年4月



◆遠軽町企業振興促進条例の一部改正
例の一部改正
町内企業の新設、移転
及び増設に伴う設備投資
に対する助成の適用期間
を延長するため条例を一
部改正するものです。

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
一般職の職員の給与を改定するものです。
◆遠軽町商工業振興条例の一部改正
中小企業が行う高度化事業に対する助成の適用期間を延長するとともに、対象業種を拡大するため条例を一部改正するものです。

○電算システム維持管理事業
175万円
・社会保障・税番号制度システム整備業務委託料
旧姓の併記を可能にするために住基システムを改修する経費の追加です。

○医療事業
56万円
・診療所運営補助金
生田原医科診療所に係る診療所運営補助金の追加です。

○医療事業
56万円
・平成16年4月
企画振興部地域振興室市町村課主査
市町村課市町村財政健全化支援室主幹
平成26年4月
京極町派遣
・平成22年4月
市町村課市町村財政健全化支援室主幹
京極町派遣
・平成3年4月

主な条例改正

◆副町長の選任
副町長として 原 収氏 (Goro Hara) の選任に同意しました。

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
一般職の職員の給与を改定するものです。

◆遠軽町商工業振興条例の一部改正
中小企業が行う高度化事業に対する助成の適用期間を延長するとともに、対象業種を拡大するため条例を一部改正するものです。

主な条例改正 (つづき)

◆議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員及び特別職等の期末手当の支給割合を改定するものです。

◆遠軽町廃棄物処理施設条例の一部改正

遠軽町清掃センターを廃止するため条例を一部改正するものです。



工事請負契約

①契約事業者、②契約額
③予定期

◎平成29年度いこいの森整備工事(繰越)①渡辺・菅野・大同特定JV、②2億2950万円、③平成30年10月31日



事)①三共後藤・佐藤特定JV、②1億9904万円から2億2459万円へ

※PCB塗膜等処分量確定に伴う設計変更



日本ではカネミ油症事件が契機となり、その後大きく取り上げられることがなりました。

※出典 国委託特殊会社「JESCO」ホームページより

指定管理者を決定

・施設

白滝農林水産物直売・
食材供給施設

・指定管理者 株矢木組

・指定期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで

◆遠軽町飲料水供給施設設置条例の一部改正

丸瀬布上武利地区専用水道施設の管理運営を図るため条例を一部改正するものです。

工事請負契約

◎①契約事業者、②契約額
○平成29年度生田原5号線中央橋長寿命化工工事の請負契約額



※PCBとは

ポリ塩化ビフェニル化合物の総称で、ダイオキシン類の一つです。

化学的にも安定的な性質であり、電気機器絶縁油、熱媒体など様々な用途で利用されました。

毒性は脂肪に溶けやすい性質から、慢性摂取により体内に蓄積し、様々な症状を引き起こします。

議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、臨時会は必要に応じて隨時開かれます。議会を傍聴される際は、規則がありますので規則を守って傍聴することをお願いします。

意見書

—道や道議会へ意見書2件を送付—

議員提案により意見書案が提出され、いずれも可決し関係行政庁に送付しました。

道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書（提出者等 稲場議員ほか4人）

1 道教委が平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、地域の教育や文化、だけではなく、経済や産業など地域の衰退につながることから、現在検討している「新しい指針」については、これまでの「指針」による問題点を抜本的に見直したものとする。当面、地域の高校や定時制高校を引き下げるなどすること。

（提出先）北海道議会議長、北海道知事、北海道教育委員会教育長

請願について
は、身近な議員までご相談
下さい。

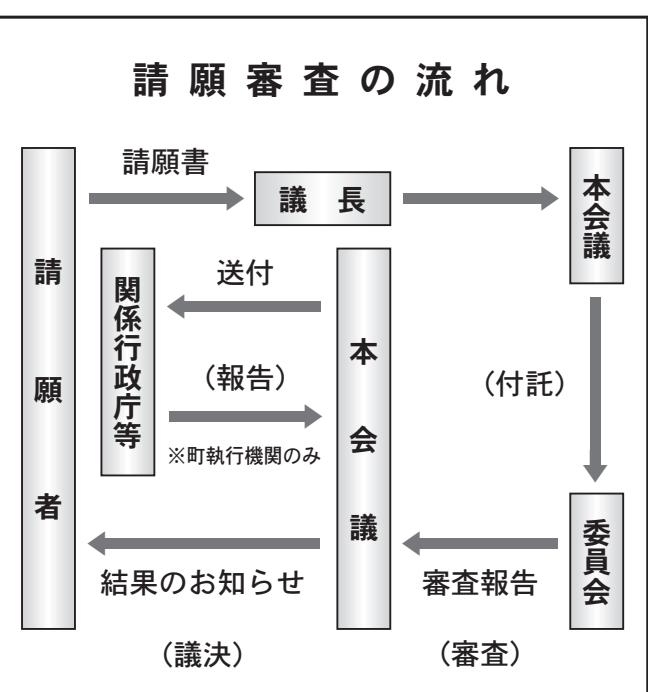
教職員の労働環境のは正を求める意見書
(提出者等 岩澤議員ほか4人)

現在、長時間労働が社会問題化し「働き方改革」が求められている中で、教職員についても、実効性のある超過勤務削減策が急務となっているため、次の事項について要望する。

1 教職員の労働環境のは正に向け、「給特法」の改廃を含め、抜本的な法整備を行うよう国に働きかけること。

・条例」下においては、実効ある教職員の勤務条件・教育条件の改善を図ること。

（提出先）北海道議会議長、北海道知事、北海道教育委員会教育長



請願

○「議員の情報報告システム」の確立を求める

○請願者
「町民にわかる議会運営」を求める町民有志の会共同代表

○本会議における決定
議会運営委員会に付託し閉会中に審査することに決定しました。

○要旨
馬場 隆雄様
小竹 肇様
福井信夫様

※【付託とは】
本会議に上程した案件について、詳しく検討を加えるため委員会等に審査を託すことです。

審議会等の委員に就任した場合、情報共有と意見構築のため「議員が議会全体に審議会等の情報を報告するシステム」の確立を求める

請願です。
審議会等の委員に就任した場合、情報共有と意見構築のため「議員が議会全体に審議会等の情報を報告するシステム」の確立を求める

町政を質す!!

平成29年第8回町議会（定例会）一般質問

4人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。

一般質問
秋元 直樹 議員



問 3期目を迎えた町長の所信表明の中では、働く保護者の子育て支援策

として、「引き続き子育て支援を強化し、子育てのしやすい誰もが安心して暮らせるまちにしていく。」と述べられています。

えから、次の3点について伺います。

① 私の一般質問で「四季を通した子どもたちの遊び場の確保について」の答弁は、「屋内の遊び場は、福祉センターの建替において施設の一角に親子が集う場所を設置する等検討していく。」

でしたら、どのような検討をしましたか。

② 瞰望岩下の公設グラウンドの遊具は、身近な屋外の遊び場として馴染みつつあります。さらに町民から愛される公園に

ますため、遊具の充実を図る考えはありませんか。

町長 1点目の質問につ

いては、現在、（仮称）えんがる町民センターの建

設に向け建設検討協議会

を開催し、意見をいただ

ります。

3点目のちやちやワ

問

ちやちやワールドを見る施設か
ら遊び施設に
たい

遊べる施設として、中心的役割を果たしているち

やちやワールドも築19年

を迎え、これまで施設内

の展示品の更新や各種イ

ベントで集客に努めてき

たものの、年々来館者の

減少が進んでいます。

来年オープンから20年

目を迎える節目に、子育

て世代の要望を踏まえ遊

ぶ施設への転換を図る考

えはありませんか。

町長 今後の新たな設置計画

はありませんが、今年度

は柵の距離を延長し安全

面の確保を図り、愛され

る公園にしていきたいと考

えていきます。

月で20年目を迎え、今年度末までの入館者数は延べ80万人を超える見込みですが、近年のレジャーの多様化や少子化などの要因もあり、年々来館者の数が減少しています。

昨年4月から、町民の入館料減免や来館者ニーズを把握するためアンケートを行ったところ、ちやちやワールドの鑑賞よりも木のおもちゃで遊びたいとの意見が多くなっています。

施設内の公用スペースに移動可能な遊具を配置し、気軽に利用できる空間づくりを考えています。

ちやちやワールドは地域に必要な施設と認識していますので、今後はアンケートの結果を分析し、観光客など入館者の要望や意見を把握するための調査や研究を継続して更に進めてまいりたいと考えています。

③ 子どもたちが屋内で

遊び場として馴染みつつあります。さらに町民から愛される公園に

ますため、遊具の充実を図る考えはありませんか。

町長 3点目のちやちやワ

ールドについては、来年4

外問わず積極的に遊び場の確保を図るべきとの考

たちのために、屋内・屋外問わず遊び場として馴染み重要な課題と考えます。

今後未来を担う子どもたちのために、屋内・屋外問わず積極的に遊び場の確保を図るべきとの考

町政を質す!

一般質問
岩澤 武征 議員



問 来年4月より国保の都道府県化が導入されます。住民の中にも関心があつて、どうなるのかという不安の声が聞かれます。そこで次の点について伺います。

- ① 道が市町村に割り当てる「納付金」の算定基準は何ですか。
- ② 遠軽町は国保税の値上げになりますか。
- ③ 道は激変緩和措置を上げになりますか。
- ④ 遠軽町は国保税加入制度を考えてはどうですか。

再問 遠軽町の国保加入者の中でも低所得者が増えていました。暮らしの実態を把握して、値上げする場合は一般的な会計から繰入れるなどできるだけ値上げしな

町長

- ① 被保険者数、世帯数、所得や国からの負担金等を基に算出します。
- ② 値上げとなる見込みです。
- ③ 納付金の額が前年度の2%を超えるので対象となります。
- ④ 独自の制度を設ける予定はありません。

いように考えるべきです。

均等割は、1人2万円で、子どもが生まれると均等割が増えます。旭川市では、子どもの均等割を半分にしており、子育て世代支援という意味でも検討できないか。

問 介護保険法が改正され、介護保険料の引き上げや「自立支援・重度化防止」に対する財政支援、「地域共生社会の実現」などこれまでと違う内容となっています。

そこで、次の点について伺います。
初期支援チームは、4月1日設置に向けて準備中であり、認知症ケアパスの作成は関係機関と協力して進め、グループホームは複合型サービスを中心検討していきます。

問 (1) 国保税は値上げになるのか
(2) 町独自の減免制度を考えるべき
答 (1) 値上げとなる見込み
(2) 独自の制度を設ける予定はない

備基金が約1億5700

万円あるが、その活用方法は。
② 第7期保健事業計画の保険料は。
③ 認知症サポート医や初期集中支援チーム、認知症ケアパスの作成、グループホームの整備などの見通しは。

町政を質す!!

一般質問
佐藤 昇 議員



問 労働契約法の改正により、有期労働者の契約が通算5年を超えた場合、労働者の申し出により、無期雇用に転換できるルールが定められました。

現在、民間・公務員を問わず労働人口が減少し、人材確保が難しいと言われており、行政としてどのように対応しようとしているのか見解を伺います。

① 改めて町内の企業等への制度の周知を図り有期雇用者の処遇改善に向けた働きかけを行う考えはありませんか。

② 町の嘱託職員、非常勤職員は、労働契約法22

条第1項で対象外（公務員は労働契約法の適用外）との見解があるが、人材確保という観点から、町の嘱託職員、非常勤職員の処遇改善にも取り組む必要があると考えます。

具体的には、
② 嘱託職員、非常勤職員等で優秀な人材を積極的に正規職員として任用していく考えはありませんか。

① 嘱託職員、非常勤職員の報酬・賃金について、今後、経験年数などを加味した報酬額、

賃金に改定できるような制度について考えはありませんか。

② 地方公務員について

は、労働契約法が適用されないことから、法改正

勤務条件などの検討をしながら制度を構築していく必要があり、この検討の中において嘱託職員等の処遇についても考えていただきたいと思います。

問 改正労働契約法施行に対する町の対応は図りたい

町長

に基づく対応は考えていませんが、

① 「無期転換ルール」

については、平成28年2月号の広報において周知しているところです。

しかし、「無期転換ル

ール」により、有期労働

者に無期転換申込権が発

生し、行使されることが見込まれる時期が平成30

年4月であることから、

町として改めて平成30年

2月号の広報に掲載する

と

ともに、関係機関と連

携し、町内企業等への周

知を図りたいと考えてい

ます。

① 現在の報酬、賃金に

ついては、経験年数の加味をしておりませんが、

職種、資格などを考慮し、

報酬7区分、賃金9区分

に設定しており、オホー

ツク管内市町村の状況も踏まえ決定しています。

商工観光課長 そうした

対応についても検討して取り上げるなどの対応も、るべきではありますか。

① について商工観光政審議会でも議題として取り上げるなどの対応も、るべきではありますか。

ことなっています。
これに伴い、今後、嘱託職員等の適正な任用・勤務条件などの検討をしながら制度を構築していく必要があります。この検討の中において嘱託職員等の処遇についても考えていただきたいと思います。

関係機関と連携し制度の周知を

再問

① について商工観

光政審議会でも議題と

して取り上げるなどの対

応も、るべきではありますか。

対応についても検討して取り上げるなどの対

応も、るべきではありますか。

いきたいと考えています。

町政を質す!!

一般質問
阿部 君枝 議員



問 2020年の東京五輪・パラリンピック競技会の入賞メダルに、不要になつた携帯電話などの小型家電に含まれるリサイクル材を活用する取り組みが注目を集めています。

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催の、「都市鉱山からくる！みんなのメダルプロジェクト」の一環で、全国の自治体や企業などが参加し回収がスタートしています。

環境省によると、小型家電のリサイクル率は約一割で、今回の取り組み

で、リサイクルが定着すれば大会後のレガシー（遺産）となることから実施が決りました。

必要なメダルは約5000個で、ロンドン大会で換算すると、金が約10キロ、銀は約1230キロ、銅は約740キロの合計で約2トンが使用され、工程でのロスを考慮すると約8トンは必要とのことです。

そこで、遠軽町もすでに、小型家電の回収を行っていますが、携帯電話は出されていないとのことです。

回収ボックスの設置や広報活動などで町民への

で、リサイクルが定着すれば大会後のレガシー（遺産）となることから実施が決まりました。

必要なメダルは約500個で、ロンドン大会で換算すると、金が約10キロ、銀は約1230キロ、銅は約740キロの合計で約2トンが使用され、工程でのロスを考慮すると約8トンは必要とのことです。

达尔に生まれ変わる、生かされる」ということを普及し、更に町民のリサイクル機運を高めるべきではないかと考えますが、町長の考えを伺います。

周知を図りながら、「家選手の胸にかけられるメダルに生まれ変わる、生かされる」ということを普及し、更に町民のリサイクル機運を高めるべきではないかと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 「都市鉱山からくる！みんなのメダルプロジェクト」にも参加する準備を進めているところです。

そこで、遠軽町もすでに、小型家電の回収を行っていますが、携帯電話は出されていないとのことです。

参加型の取り組みとして注目されているところで

答 町民参加で「不要になつた携帯」で五輪メダルのリサイクルを参加する準備を進めてまいりたい

ご質問の小型家電の回収につきましては、ご案内のとおり本年度より実施しております。町民のみなさまのご協力のもと、取り組みが定着してきたことから、現在この

「都市鉱山からくる！みんなのメダルプロジェクト」にも参加する準備を進めているところです。

なお、リサイクルをはじめとする循環型社会の推進につきましては、これを機にさらに取り組んで参ります。

質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。

質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。

各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

常任委員会

レポート 10月～12月

総務・文教

(仮称)えんがる町民センターや3つのコンセプトから夢を描く。

「吹奏楽のまち」の文化を継承し、新たな交流・発見を創出させる遠軽町のシンボルと位置付け。施設を通じて町に「にぎわいと活気」を生み出し、お年寄りから子どもまで、利用しやすく親しみのもてる施設に。以下、施設の基本となるコンセプトとなる施設

- 1 文化芸術振興の拠点
- 2 バリアフリー・防災
- 3 環境に配慮した、使用者にやさしい施設
- 4 まちとつながるにぎわいを創出する施設



にぎわいの中心としてどうあるべきか議論

内部の配置おおむねまとまる

(仮称)えんがる町民センター

- エレベーターも完備し、駅へのアクセスを容易にするバリアフリー対応の公共歩廊（連絡通路）。
- 南側に主玄関、北側に副玄関。

施設機能は？

- ①音楽活動機能
- ②公民館活動機能
- ③にぎわい創出機能
- ④防災機能

施設内容は？

- 固定席600席程度の大ホール
- 多目的利用できる小ホール
- リハーサルや音楽・ダンス等の練習ができるリハーサル室
- 電子音楽系及び太鼓の練習に使用できるスタジオ
- 町民のさまざまな活動ができる多目的室及び和室
- 調理研修や各種パーティー、炊き出しに使用できる調理研修室
- 建物内のスマートな動線を確保。
- 右の福祉センター機能を集約し、賑いの顔づくり。
- 岩見通に沿って共用部を配置・開放し、積極的に活用。

機能配置（ゾーニング）は？

- このほかに委員会を4回開催、案件27件について審議しました。
- 旧遠軽中央病院およびコミュニティ駐車場部分の敷地に建物と駐車場を整備。
- 駅からのアクセス及び用を考慮して、遠軽駅側に配置。

常任委員会

レポート 10月～12月

民生

転換期を迎える介護と医療制度。
国から地方へ、そして自分ごとで考える。

高齢者保健福祉計画及び
第7期介護保険事業計画
について

高齢者保健福祉計画、
介護保険事業計画とは法
に基づき介護保険サービス等の事業を円滑に実施す
るための計画で、3年ごとに計画を策定する義務がある。

国と道の指針に沿い介護保険事業計画の見直し、
両計画の一体化的な計画として策定（平成30年度～32年度までの3年間）。

第7期介護保険計画の特徴として、被保険者の地域における自立した日常生活の支援や、介護予防、介護給付等に要する費用を適正化するための目標を設定。

策定スケジュールは、北海道の通知に基づき、今期のサービス量実績や次期のサービス量推計の作業を行い、今年度末に

かけて作業。
介護保険料の改正作業も合わせて行い、3月定期議会において提案する。

例議会において提案する。事務を実施する新しい国保制度改正に向け事務が進められている。

国民健康保険制度の改正について

概要は、道が財政運営の責任主体、町は保険税の平成30年度から道と市町村が一体となって国保の決定や収納、保険証の発行などの事務を行う。背景には、小規模市町ではリスク分散が困難で、低所得の加入者が多く、医療費や保険税の地域差が広がっているため。

赤字財政の解消や健康づくりなどの推進、保険税収納率の向上が課題。以下の取組みにより、安定運営を進める。

転換期を迎える介護と医療制度

国から地方へ、今後どうなっていくか注目！



①市町村と道で運営することにより保険税の公平化、②赤字抑制による財政安定化、③事務処理システムの共同化及び事務平準化による事務の地域化など。

今後、道から納付金及び標準税率が示され、基礎資料の作成や保険税算定事務を進める。

国保運営協議会を開き協議を経た後、平成30年3月の定例議会に条例案を提案する見込み。

このほかに委員会を2回開催、案件20件について審議しました。

常任委員会

レポート 10月~12月

経済

ロボット再生!!
いこいの森「第一章」
に向けシンボルとと
もに

災害により甚大な被害を受けた遊具エリアは、支障物等の撤去、整地等の整備工事を12月末に完了。

遊具等の整備については、雪融け後から着工。

施設の主な整備内容

- 施設全体の安全性に配慮し整備を行う。
- ゴーカートコース（力を一層を緩やかに）。
- ローラースケート場（手すり設置）。
- 擁壁（高さ1m長さ170m）。
- 大型遊具（1基）。
- スプリング遊具（3基）。
- 大型すべり台（通称ロボット）をミニチュア化し、軌道分岐点にシンボルとして設置。
- 遊具エリアにあずまやを2か所設置。

遠軽町商工業振興条例の一部改正

種を拡大する。
これまで、小売業及び飲食サービス業等としていた業種に「クリーニング業、理容業、美容業、旅行業等」が新たに助成対象とする。

委員会を3回開催、案件21件について審議しました。

条例は、中小企業者が行う高度化事業に対する助成であり、今回対象業

グ業、理容業、美容業、旅行業等」が新たに助成対象とする。

ロボット再生！

いこいの森「第一章」に向けシンボルとともに



水害に耐える遊具 通称「ロボット」

そのほかの委員会の開催状況

■議会運営委員会

5回開催

○主な審議項目

- 「議員の情報報告システム」の確立を求める請願
- 「議員は、法定以外、審議会等の委員に就任しないこと」の暫定措置を求める陳情
- 「委員会会議録等のホームページ公開」を求める陳情

■議員協議会

- 2回開催
- 委員会等の構成について
- 人事案件について

末は議長か町長か

遠軽中学校インターん職場体験



緊張しつつも笑顔がこぼれる

町議会の職場体験をして

遠軽中学校2年
樋 浦 嘉 太

町議会へ職場体験をして、議会を傍聴したり、前田議長や広報特別委員会秋元委員長へのインタビューをするなど、貴重な体験をしました。まず、事務局へ職場体

皆さんには小学校や中学校で職場体験学習をそれぞれ学校のカリキュラムとして取り組まれていることをご存知でしょうか。

去る12月5日、議会に将来の遠軽町を担うであろう中学生がやつて来ました。

樋浦嘉太君は、遠軽中

学校の2年生で野球部に所属しており、ポジションはキャッチャーをすることが多いそうです。

最初は緊張の面持ちで

したが、次第に雰囲気にも慣れメインであつた議長との面談も無事果たしました。

以下、職場体験記をま

とめてもらいましたので、ご紹介します。

次に、遠軽地区広域組合の議会を傍聴して、普段全く聞かない難しいことをすらすら言つていて、こんなに難しいことをよく理解して話し合つていった。

すると、議員さんたちつてすごいんだなと思いました。

「事務局」といえば、堅いイメージがありました

が、そんなことはなく、優しく、フレンドリーな人たちで、堅いというこ

とはありませんでした。

しかし、仕事は難しく、毎日やれるなんてすごい

なと思いました。

この体験したことから、命にやつて、将来、懐かしく思えるように過ごしてください。」と言つていました。

この体験したことから、命にやつて、将来、懐かしく思えるように過ごしてください。



良い経験になったかな？

は何ですかと尋ねると、道の駅や町民センターが重要と言つっていました。

最後に私たち中学生に

一言もらうと、前田議長は「まちの将来を担う若者よ頑張れ。」と、秋元委員長は、「今しかできない部活や勉強を一生懸命にやつて、将来、懐かしく思えるように過ごしてください。」と言つていました。

この体験したことから、命にやつて、将来、懐かしく思えるように過ごしてください。

前期常任委員会等体制

◆総務・文教常任委員会

委員長	竹中 裕志
副委員長	稻場 仁子
委員	岩澤 龍彦
委員	高橋 武征
委員	義詔
委員長	佐藤 昇
副委員長	山谷 仁子
委員	今村 敬二
委員	黒坂 則康
委員	渡部 貴行
委員長	阿部 君枝
副委員長	秋元 直樹
委員	佐藤 登
委員	前島 英樹
委員	山本 悟
◆議会運営委員会	
委員長	高橋 阿部 君枝
副委員長	秋元 直樹
委員	佐藤 登
委員	前島 英樹
委員	山本 悟
◆経済常任委員会	
委員長	秋元 直樹
副委員長	佐藤 登
委員	前島 英樹
委員	山本 悟

スノーボードもまちづくりもチャレンジ！



佐藤さん(後列中央)の周りには、いつも子どもがいっぱい

○遠軽地域在住
スタイルショップ
「フリー」店長
○佐藤幸一さん

佐藤さんは、大通りでお店を経営しながら、子どもたちに、スノーボー

ドの素晴らしい景色を知つてもらうために精力的に活動しています。

スノーボードとの出会いは20歳代前半で、その楽しさに魅了されインストラクターなどの資格を取得し、趣味の一歩先を行く活動をしてきました。

また、本業であるセレクトショップを経営する傍ら、ジュニアを対象にしたスノーボードのインストラクターを30年続けてきました。

現在は、遠軽スキー連盟副会長として、ワインタースキーリーの発展に邁進され、合わせて全日本スキー連盟スノーボード部の普及広報小委員会委員長、北海道スキー連盟競技部の役員などを担い、活動を展開しています。

○ジュニアの育成を全国的に駆けて取組まれた、きっかけは。

えんがある話 (まちの声)

ドの素晴らしさを知つてもらうために精力的に活動しています。

スノーボードとの出会いは20歳代前半で、その楽しさに魅了されインストラクターなどの資格を取得し、趣味の一歩先を行く活動をしてきました。

最初は、自分が楽しむためのスノーボードでした。が、「こんなに楽しいことはまだだから、皆さんに知つてもらいたい。」という思いに駆られたからです。

そのジュニア育成をこれまで続けられたのは、地域の皆さんや、父母の方々などの手助けがあつたからで、感謝の気持ちでいっぱいです。

今シーズンは、さらに子どもたちが雪に触れ合う機会を増やすため、スノーボード雪遊びスクールを15回程度開催する予定なので、興味のある方は、ぜひ一緒に遊びましょう！

○まちづくりについて思うところを聞かせてください。

○議会に対する思いはありますか。

できる検証実践を、と思います。町民の意見を聞く方法として報告会を開くのも一つの手段として良いと思いますが、若い人達は恥ずかしがって、意見を言いにその場に行きにくいのが現実ではないでしょうか。

若い人が来れないのであれば、逆に議会の方から意見を聞きに出向くというのも良いと思います。

子どもや若い人たちの斬新な意見や発言は、大変参考になるので、議会は、そういう意見をいかに形にするかの議論を期待しています。

白滝地域に暮らす方々にとつては、時として厄介者となる雪ではありますが、パウダースノーのさらに上に行くシルキー・スノーと言われる雪質は競技者にとって、何ものにも代え難い貴重な資源です。

白滝地域には、オシリワンの資源があり、地域に秘められているボテンシャルの高さを感じずにはいられません。

委員会 委員長 秋元山本正騎登悟
委員会 副委員長 佐藤直樹
委員会 広報特別委員会
委員会 渡部